

萩の湯だより9月号

NO. 14

発行日 平成30年09月01日

作成者 長沼 雄三



住所 東京都台東区根岸2-13-13
JR 山手線鶯谷駅徒歩3分 JR 日暮里駅徒歩8分
電話 03-3872-7669
HP アドレス <http://haginoyu.jp/>
営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)
11:00~深夜 1:00 (最終受付 0:30)

料金 大人460円 小学生180円 幼児80円
サウナ プラス120円 (土日祝170円)
朝湯サウナ無料
タオルセット 70円
リンスインシャンプー・ボディークリーム無料
定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

9月20日(木) 9月21日(金) は台東区にお住まいの65歳以上の方、無料です。
高齢者無料開放は9月20日(木)と21日(金)になりました。当日は必ず身分証明書をお持ちください。証明書がない場合は無料での入浴ができません。台東区内にお住まいのお客様に限ります。20日は神亀酒造の酒粕、21日は鳴子温泉湯の花の特別風呂です。それぞれ露天風呂に投入します。

10月7日(日) はラベンダー湯
北海道の富良野で有機栽培されたラベンダーの花茎を薬湯と露天風呂に使用します。当日は中学生以上のお客様先着2000名に記念タオル、小学生以下のお客様先着200名にヤクルトを差し上げます。

*オーナーのコラム

銭湯発祥の地はどこか知っていますか? 正解は三重県の「伊勢」。伊勢生まれの伊勢与市さんという方が天正19年(1591年)に江戸の銭瓶橋(ぜにかめばし)のほとりに銭湯風呂を建てたというのが、記録に現れた最初です。記録なのでそれ以前にもあった可能性はありますが、伊勢と聞くと神聖な感じがして良いですね。まあ、建てたのは江戸なんです(笑)。それでも伊勢は発祥の地ですから銭湯に込める思いは強いはず。ということで先日伊勢市の銭湯を巡ってきました。伊勢市自体は地方なので広いですが銭湯は伊勢市駅前を中心にまとまって5軒あります。それぞれの銭湯同士の距離感覚が近く0.5~1キロ程度なので歩いてすべてを回ることも可能です。そのため地元住民の方々も利用しやすく地域に愛された銭湯になっています。実際に入ってみるとどうでしょう。今回は3店舗、旭湯、錦水湯、常盤湯を訪問したのですが、一言でいうと「楽しめる銭湯」という印象です。コンパクトですが浴槽の種類が豊富で電気風呂、水風呂、スチームサウナ(無料)が3軒ともあります。↑

薬湯の予定

9月

1	土	ラベンダーカミツレ	16	日	ホットハーブ
2	日	生姜エキス	17	月	よもぎ
3	月	レモン	18	火	定休日
4	火	ホットハーブ	19	水	キンモクセイ
5	水	ラ・フランス	20	木	りんご
6	木	よもぎ	21	金	玉露カテキン
7	金	りんご	22	土	実宝湯
8	土	玉露カテキン	23	日	ラ・フランス
9	日	実宝湯	24	月	まどろみ
10	月	キンモクセイ	25	火	ひのき
11	火	ひのき	26	水	ラベンダーカミツレ
12	水	ラベンダーカミツレ	27	木	生姜エキス
13	木	生姜エキス	28	金	キンモクセイ
14	金	ラ・フランス	29	土	まどろみ
15	土	レモン	30	日	レモン

*上記は実宝湯を除き全て入浴剤を使用します。

露天風呂 20日神亀酒造酒粕 21日鳴子温泉湯の花

↓台東区でこのレベルの銭湯があれば人気が出ること間違いなしです。どの銭湯も10年以上前からこのようなスタイルで営業していたので以前は銭湯の最先端を走っていた街だったのです。しかし現状はというと廃業が続き、今後も減少していくでしょう。しかし「旭湯」さんが二見浦の海水をトラックで運んできて毎日汐湯を提供したり、オリジナルタオルを作るなど面白い工夫をたくさんしているのでこの先も伊勢市の銭湯文化はなくなるはず。皆さんも「お伊勢参り」と合わせて伊勢の銭湯巡りをしてみてはいかがでしょうか。

